

椅子取りゲーム 城 久道

人生は椅子取りゲーム

一巡^{いちじゆん}して戻って来ると 席がない
その人はそこでお終い。

彼方へどうぞ！

こちらのリストから削除します

妹も従兄達も

席がなくなって あの世へ行ってしまった。

どういう訳か？ 今のところ戻ってみると
まだ 私の席は残っている

でも、次に戻ったとき席があるかどうか？
そりゃ分らない

よその国では 今でも初めから
満身に 椅子を与えられない子供達さえ居る

でも この国だって70年余り前には
罪のない子供達や 夢に溢れた若者たちの座る場所は
簡単に失われた

軍国主義にまみれた権力者や資本家が
椅子をあつさりと 片付けてしまったから…

その上 民主主義という理想を掲げ、
正義の味方を標榜^{ひょうぼう}する保安官が
国際法を無視し、無差別爆撃を続け
70年前のわたし達子供や 女や年寄り達の席を
容赦なく奪った

そして今や

モンスターに変貌した
巨大保安官は
「民主主義」という大義の下
矛と盾を振り回して
相容れない 宗教、文化、習慣の一切から
椅子を取り上げようとしている

それを窘めるどころか

お余り頂戴！ と尻尾振りふり
追隨 協力に励む 日本の椅子取り亡者どもは

70年余り前 理不尽に椅子を取り上げられた
罪のない人々の悲しみと怨みを 忘れ去って
自ら 椅子取り軍隊を外国に送り込み

更に 椅子取りゲームを正当化するため
世界に誇るべき平和の理念まで
棄て去ろうと 目論んでいる

わたし達に出来ること それは椅子にしがみついて

再び子供達や女達や 善良な男達に
悲しい思いをさせないこと
ひもじい思いをさせないこと
よその国の人達にまで 酷いことをしないこと。

.....

私だって椅子は欲しいけれど、

引き替えに

日本人の取るべき道を 実現してくれるなら
差し出したって、構わないのだ 私の椅子を！

《二〇一七年三月二十日(春分の日)再々修正》